



ふたまたせ



【学校ホームページのQRコード】
随時更新中！



【めざす学校像】“ひたむきで、ぬくもりのある さわやかな 二俣瀬小学校”

令和6年度 前期学校評価アンケートのまとめ

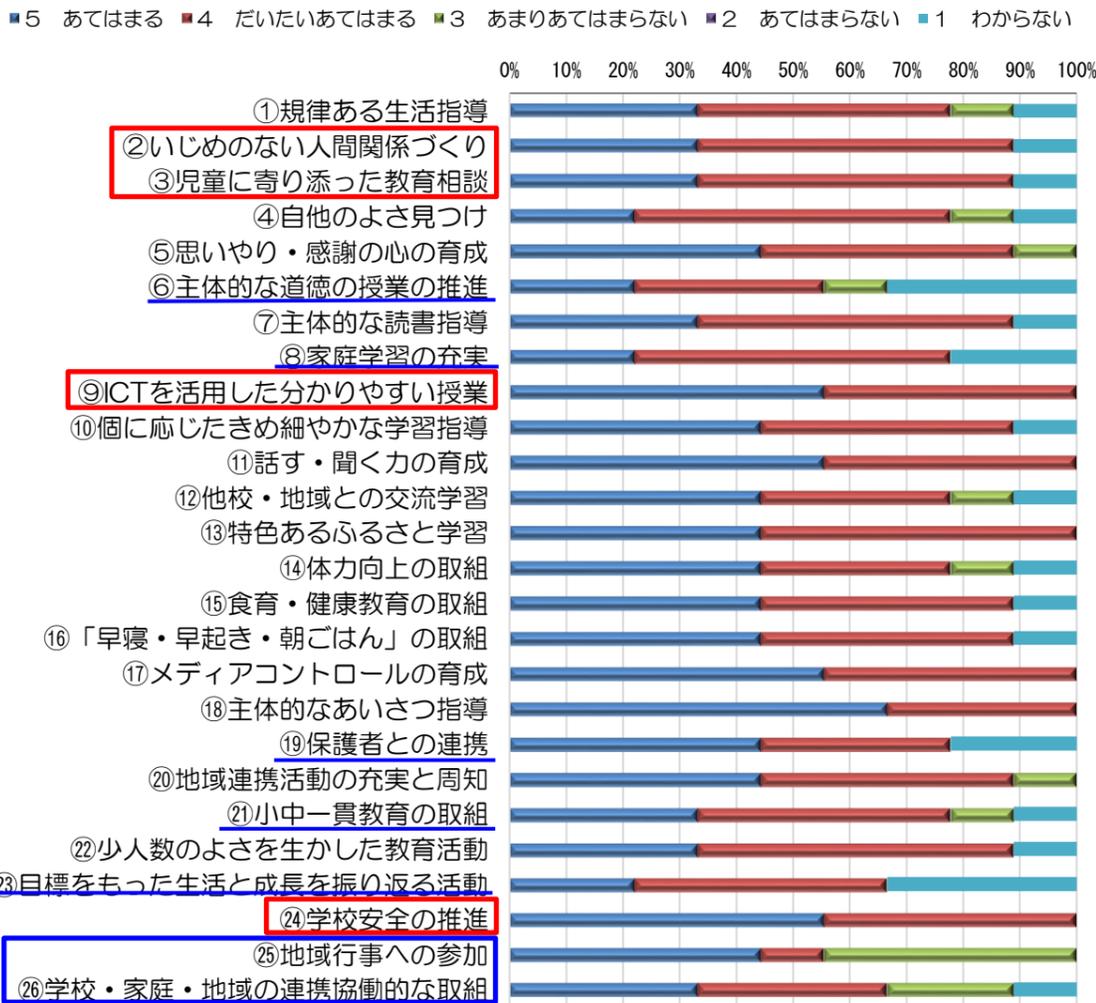
保護者・地域の皆様には、前期学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。学校運営協議会委員・保護者・教職員・児童の評価結果を下記のとおり分析しました。今後の学校運営に生かして参りたいと思います。今後とも学校の教育活動にご支援・ご協力いただきますとともに、学校の取組に対するご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。よろしくお願いいたします。

＜グラフの見方について＞

「5：あてはまる 4：だいたいあてはまる 3：あまりあてはまらない 2：あてはまらない 1：わからない」

※評価5及び4を「肯定的評価」、評価3及び2を「否定的評価」としています。

令和6年度 前期よりよい学校づくり評価（学校運営協議会委員9名）



＜取組の成果が見られる評価結果（赤枠囲み）＞

○「②いじめのない人間関係づくり」「③児童に寄り添った教育相談」について、地域の委員・保護者ともに90%を超える肯定的評価でした。担当教員及び学級担任が児童一人ひとりに丁寧に関わっている成果だと考えます。いじめ等の問題や教育相談は、とにかく速く、そして丁寧に対応していくことが求められます。引き続き、保護者の皆様・地域の方々との情報共有を密にしながら、これら問題に真摯に取り組んでいきます。

○「⑨ICTを活用した分かりやすい授業」については、両者ともに100%の肯定的評価でした。2学期より新しい電子黒板が入りましたので、さらに活用頻度を上げながら誰もが分かりやすい授業づくりをめざします。

○「㉔学校安全の推進」についても、100%の肯定的評価でした。見守り隊の方々による登下校の交通安全や引渡し訓練等の災害安全、防犯訓練等の生活安全では、保護者・地域住民の皆様のご支援・ご協力にいつも感謝しています。今後も家庭・地域と連携協働しながら安心・安全な学校づくりに努めます。

＜取組の課題が見られる評価結果（青枠囲み）＞

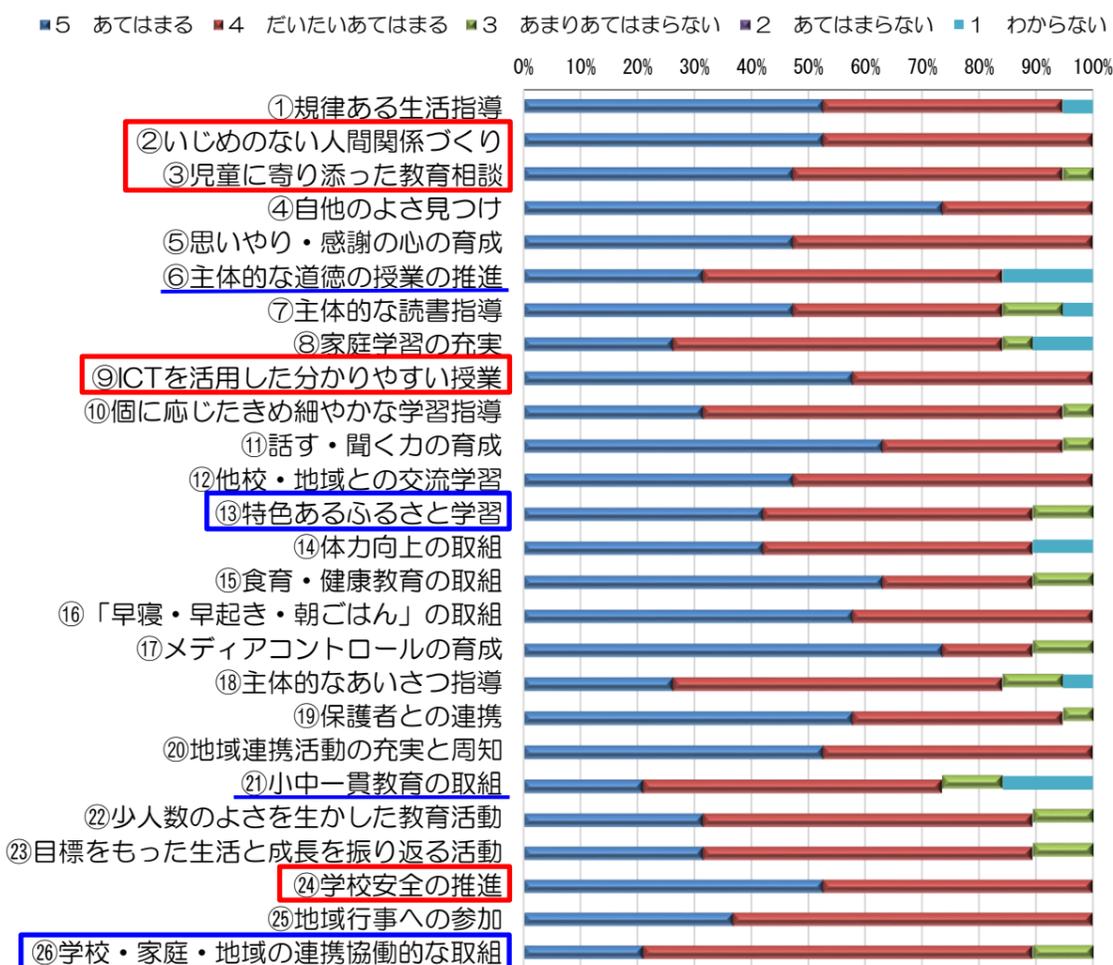
※地域の委員の方々には、「㉕児童の地域行事への参加」について約45%、「㉖学校・家庭・地域の連携協働的な取組への積極的参加」について約25%が否定的評価でした。また、保護者の方々には、「⑬学校の特色あるふるさと学習への取組」、「㉖学校・家庭・地域の連携協働的な取組への積極的参加」について約10%以上が否定的評価でした。

●「⑬学校の特色あるふるさと学習への取組」については、特認校として、もっと特色ある教育活動を展開していく必要性を感じています。その実現のためには、家庭・地域との連携が欠かせません。これから、家庭・地域の一層のご支援・ご協力を得ながら「自然の中での体験活動」、「地域の伝統・文化を学ぶ活動」、「他校・地域とのふれあい交流活動」を推進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

●「㉕児童の地域行事への参加」については、いつ、どのような行事が、どのように行われるのかを、今後、学校で児童にしっかりと周知していきたいと思っています。それと同時に、各地域行事について児童に企画段階から参画させることで、運営者の視点に立って主体的参加を促すことも考えられます。これから地域の方々との協議していきたいと思っています。

●「㉖学校・家庭・地域の連携協働的な取組への積極的参加」については、学校から家庭や地域に対してもっと積極的に地域連携活動への協力をお願いする必要があったと感じています。学校が取り組みたいことやそれに対して保護者・地域にできることなどについて、学校・家庭・地域で協議しながら役割分担していく必要があります。今後、協議の場をもちたいと思います。

令和6年度 前期よりよい学校づくり評価（保護者19名）



＜「わからない」の回答が多かった評価結果（青下線）＞

※「わからない」という結果については、学校からの広報活動不足と受け止めます。今後、取組を見える化したり、家庭・地域に参加いただいたりしていきたいと思っています。児童に聞くことや家庭・地域で情報交換することも、ぜひ行っていただきたいです。

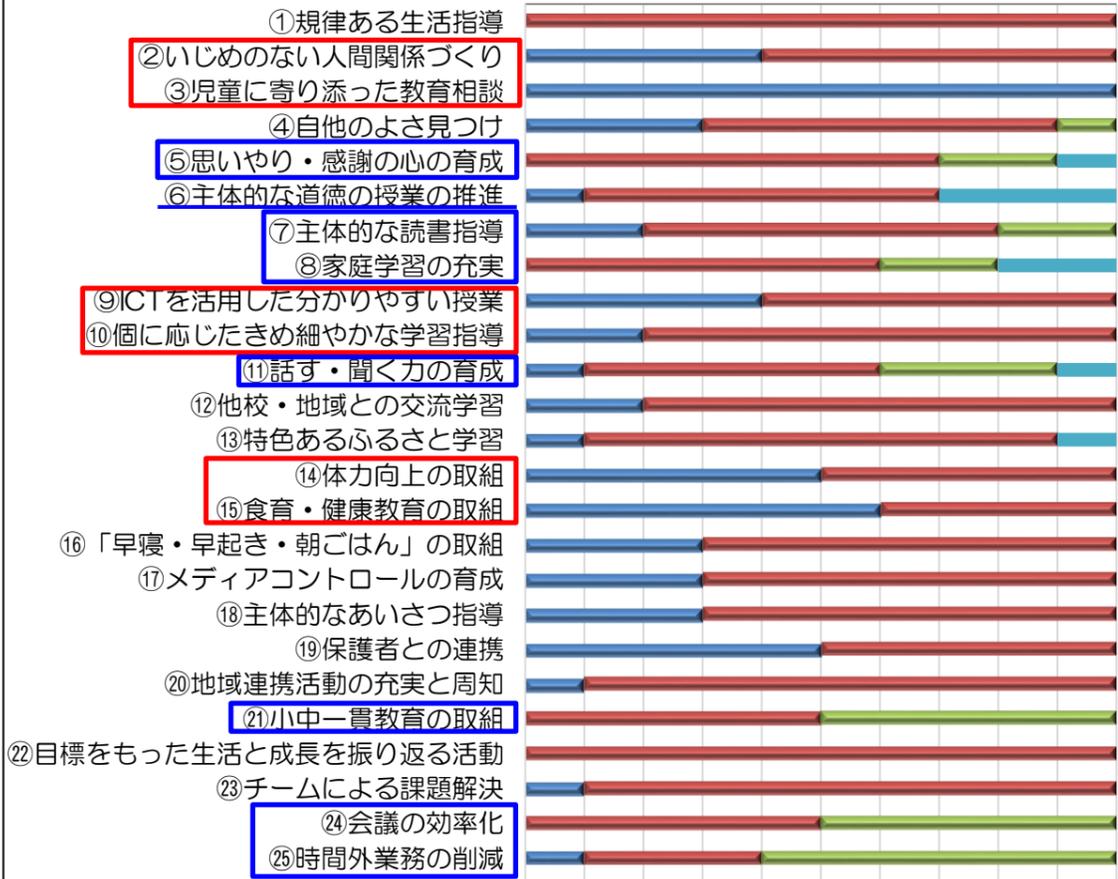
●「⑥主体的に考える道徳の授業の推進」については、全校道徳や他校とのオンライン授業の様子を参観してもらったり、地域道徳に児童と一緒に授業参加してもらったりする取組を予定しています。ぜひ、学校にいらしてください。

●「㉑小中一貫教育の取組」については、「小中一貫のグランドデザイン」や「生活・総合版『学校・地域連携カリキュラム』」を各家庭・地域に配付しているところです。小中一貫教育はまだ歩み出したばかりです。これから、「小中合同駅伝大会・交流会」を契機に、三小一中の取組のつながりを具体化していきたいと考えています。それら取組に参加いただき、児童生徒の様子をご覧ください。

令和6年度 前期よりよい学校づくり評価（教職員10名）

■5 あてはまる ■4 だいたいあてはまる ■3 あまりあてはまらない ■2 あてはまらない ■1 わからない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



<取組の成果が見られる評価結果（赤枠囲み）>

●教職員の「②いじめのない人間関係づくり」「③児童に寄り添った教育相談」に関する肯定的評価の高さに対応して、児童の「②学校が楽しいこと」「③相談できる人がいること」に関する肯定的評価が高い結果となり、教職員の一人ひとりを大切に丁寧な関わりの成果が表れています。今後もいじめ対策・相談対応・不登校対策について、連携した取組を強化していきます。

●教職員の「⑨ICTを活用した分かりやすい授業」「⑩個に応じたきめ細かな学習指導」に関する肯定的評価の高さに対応して、児童の「⑧授業のわかりやすさ」「⑨自分で選び、決める学習」に関する肯定的評価が高い結果となり、ICT活用と個別最適な学びの成果が表れています。さらにICTを効果的活用し、自由進度学習にも取り組んでいきます。家庭・地域に授業公開していきたいと思ひます。

●教職員の「⑭体力向上の取組」「⑮食育・健康教育の取組」の肯定的評価の高さに対応して、児童の「⑬進んで運動」「⑭好き嫌いなく食べること」に関する肯定的評価が高い結果となり、担当者を中心とする取組の成果が表れています。今後は家庭・地域と連携した「みんなで遊ぼう」や「朝食を食べよう」の取組を行っていく予定です。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

●児童の「⑲交通安全に気をつけた登下校」についても高い肯定的評価となりました。地域の見守り隊の皆様のおかげです。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

<取組の課題が見られる評価結果（青枠囲み）>

●教職員の「⑤思いやり・感謝の心の育成」について約30%が否定的評価、児童の「④思いやり・感謝の言葉」について約25%が否定的評価という結果となりました。児童の心を耕し、心に響く教育活動を道徳科を中心に進めています。具体的な成果には至っていません。今後、家庭・地域に向けて道徳授業の参観や地域道徳への参加を計画しています。また、児童会活動における「思いやり・感謝の言葉」を広げていく取組を行う予定です。

●教職員の「⑦主体的な読書指導」「⑧家庭学習の充実」について約20～40%が否定的評価、児童の「⑥進んで読書」「⑦主体的な家庭学習」について約20～25%が否定的評価でした。読書活動については引き続き、学校司書や読書ボランティアと連携して児童が読書に親しむ活動を推進していきます。家庭学習については、家庭と連携しながらさらに児童の実態に応じて児童自身が自らチャレンジする活動を行っていきます。

●教職員の「⑩児童の話す・聞く力の育成」について約40%が否定的評価、児童の「⑩進んで発表・話を聞くこと」について約15%が否定的評価という結果でした。児童の「話す・聞く・話し合う能力の育成」は、本校児童の一番の課題といつてよいでしょう。小規模校だからこそこの課題ともいえます。その課題解決に向けて、多様な人と関わり合う場を考えています。他校との遠隔授業や地域との交流学习、保育園・中学校とのふれあい活動などを、計画的・継続的に実施していきたいと思ひます。

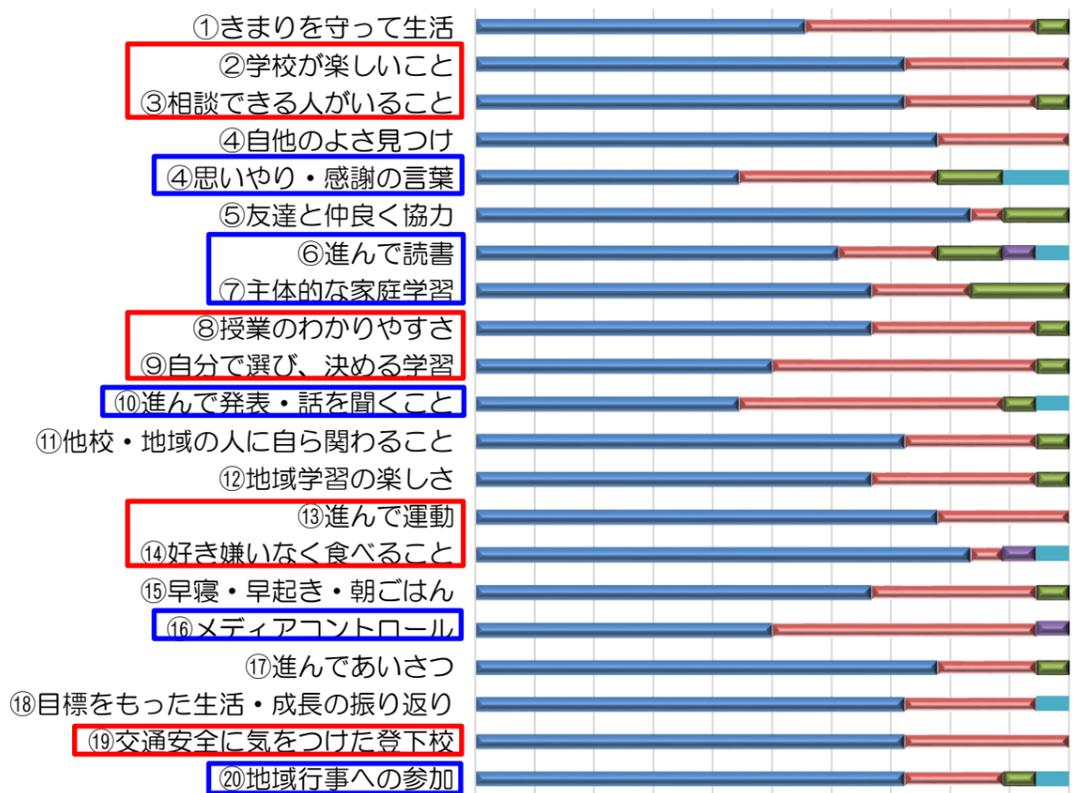
●教職員の評価結果にもあるように、「㉑小中一貫教育の取組」「㉔会議の効率化」「㉕時間外業務の削減」についても大きな課題があります。小中で何をどのように一貫していくのかについて、これから小中で協議を重ねていきたいと思ひます。また、教職員の業務負担軽減に努め、児童と向き合う時間を確保するなど、学校における「働き方改革」を推進して参ります。

●児童の「⑯メディアコントロール能力の育成」「㉒地域行事への参加」についても課題があります。メディアコントロールでは、家庭と連携して約束事を徹底し、メディアの安全な使い方を学校でも指導していきます。地域行事については、今後、地域と協議しながら児童が参画する地域行事を検討していきたいと思ひます。

令和6年度 前期よりよい学校づくり評価（児童18名）

■5 あてはまる ■4 だいたいあてはまる ■3 あまりあてはまらない ■2 あてはまらない ■1 わからない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



<自由記述「地域住民・保護者の皆様からのご意見・ご要望について」>

- *二俣瀬小がよいと思つても、現実的になかなか児童数が増えないことをもどかしく思ひます。よいアプローチを考えたいと思ひます。
- *「二俣瀬のよさ」を児童と保護者、地域、学校が一緒になり、発信していきたいと思ひます。
- *学校の図書室には、大人も読める本がいっぱいあるので、地域住民に曜日と時間を決めて開放してほしいです。
- *複式学級でのリーダー学習も身に付きつつあり、今後の成長が楽しみです。
- *宿題や児童間のトラブルなどを丁寧に見ていただいて助かっています。
- *給食試食会はとてもよかったので、向かい合つて食べることもご検討ください。
- *学校で撮影された写真データをいただくことが可能かどうかご検討ください。
- *全校で一輪車ではなく、せっかく簡単バージョンの楽譜があるので全校で太鼓の方がよいと思ひます。一輪車は高学年の見せ場として残してほしいです。低学年に合わせて披露するレベルが下がるのは残念です。低学年のかわいいダンスが観たいと思ひました。



学校の取組を価値付けていただいたり、よりよい取組や活動を提案いただいたりして本当にありがとうございました。地域住民や保護者の皆様の声に押されて、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりをさらに推進していきます。特認校就学制度をもつ本校として、数年後のさらなる児童数の減少を見越した際に、二俣瀬の特色を生かした教育活動を今まで以上に展開し、広く広報活動を行うことで、児童数の確保に努めることが求められます。このことについては学校だけで考えることはできませんので、今後、家庭・地域と連携協働しながら協議を進めていきたいと思ひます。それに合わせて、地域に対して積極的に学校施設開放を行い、大人の学びの場としての学校を推進することで、児童と地域の交流を深めるきっかけにしていきたいと思ひます。その他、上記の教育活動に関するご意見・ご要望については、これから校内でも検討し、育友会評議員会や学校運営協議会等の話題に挙げていきます。貴重なご意見・ご要望をありがとうございました。これからも学校に対するご要望等はいつでも承りますので、お気軽にご相談ください。